

みずほCustomer Desk Report 2023/12/22号(As of 2023/12/21)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.51
TKY 9:00AM	143.52	1.0942	156.95	GBP/USD	1.2640
SYD-NY High	143.57	1.1012	157.12	AUD/USD	0.6741
SYD-NY Low	142.05	1.0936	156.16		
NY 5:00 PM	142.12	1.1011	156.50		

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,404.35	322.35	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	14,963.87	185.92	日本10年債	0.5800%	0.0300%
S&P	4,746.75	48.40	米国2年債	4.3506%	0.0130%
日経平均	33,140.47	▲ 535.47	米国5年債	3.8784%	0.0282%
TOPIX	2,325.98	▲ 23.40	米国10年債	3.8909%	0.0389%
ソコ日経先物	33,310.00	205.00	独10年債	1.9520%	▲ 0.0245%
ロンドンFT	7,694.73	▲ 20.95	英10年債	3.5265%	0.0040%
DAX	16,687.42	▲ 45.63	豪10年債	4.0250%	▲ 0.0580%
ハンセン指数	16,621.13	7.32	USDJPY 1M Vol	10.41%	1.81%
上海総合	2,918.71	16.61	USDJPY 3M Vol	10.34%	0.52%
NY金	2,051.30	3.60	USDJPY 6M Vol	9.92%	0.25%
WTI	73.89	▲ 0.33	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.67%	Yen Call Over
CRB指数	266.08	▲ 0.31	EURJPY 3M Vol	9.98%	0.41%
ドルインデックス	101.84	▲ 0.56	EURJPY 6M Vol	9.91%	0.27%

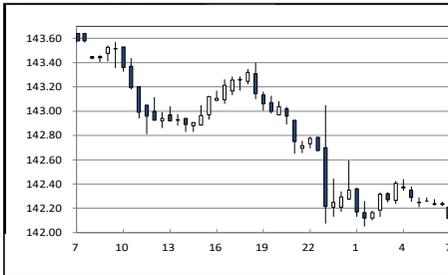
【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
12月21日	22:30	米	GDP年率・前期比	3Q T 4.9%	5.2%
	22:30	加	小売売上高(前月比)	10月 0.7%	0.8%
	22:30	米	個人消費	3Q T 3.1%	3.6%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	16-Dec 205k	215k
	22:30	米	フィテールファイ連銀景況	12月 -10.5	-3

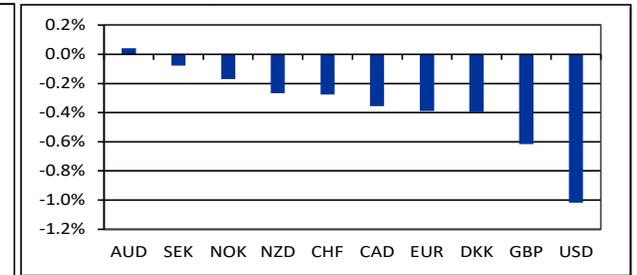
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
12月22日	08:30	日	全国CPI/コア	11月 2.8%/2.5%	3.3%/2.9%
	08:50	日	10月30-31日分日銀会合議事要旨	-	-
	16:00	英	小売売上高(除自動車燃料、前年比)	11月 -1.4%	-2.4%
	16:00	英	GDP(前年比)・確報	3Q 0.6%	0.6%
	16:00	英	個人消費(前期比)・確報	3Q -0.4%	-0.4%
	22:30	米	PCEデフレーター(前年比)	11月 2.8%	3.0%
	22:30	米	耐久財受注 前月比/除輸送用機器	11月 2.3%/0.1%	-5.4%/0%
12月23日	00:00	米	新築住宅販売件数	11月 690k	679k
	00:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	12月 69.4	69.4
	-	米	米債券市場が短縮営業	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.00-142.70	1.0950-1.1050	155.00-157.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は142円台前半まで水準を切り下げる展開となった。軟調な株式市場や米金利低下を背景にドル円は軟調推移。強弱まちまちな米経済指標の結果を受けてドル売りで反応し、一時142.05まで下落。同水準を維持しクローズした。本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日は米労働市場の底堅さが改めて確認された一方、GDPや個人消費等の景気の弱さが意識された。テクニカルには200日移動平均線を再度割り込み、一目均衡表上の転換線にも上値を抑えられるなど、軟調な地合いとなっている。本日は米コアPCEデフレーター発表を控えており、クリスマス前で流動性が低下している中では、結果を受けてボラティルな動きに注意すべき。

東京	143.52レベルで東京時間オープン。日本株の下落を背景にドル円は軟調推移。内閣府が発表した2024年度の本邦CPIの見通しが1.9%から2.5%に引き上げられ、早期マイナス金利解除の思惑が広がりが142.81まで下落。その後は、米金利上昇とともに、143円台を回復し、143.12レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.12レベルでオープン。立ち上がりはアジア時間の下げを戻す展開で143.40まで上昇するも、程なくドル売りが再開すると結局142.79レベルでNYに渡った。トルコ中銀は政策金利を予想通り2.50%ポイント利上げしたが、織込済みであったこともあり通貨リハはやや弱含んだ。また、中銀は政策金利を予想通り0.25%ポイント引下げ、通貨コナは売りで反応した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は143円台半ばでスタート。日本株安の展開を受け、円買いが優勢となり、142.80付近まで下落。その後は143.40近辺まで戻す場面も見られたが、米金利低下が下押し要因となり、再び反落し142.79レベルでNYオープン。朝方には複数の米経済指標が発表され、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数は予想より良好な結果となり、直後は143.05まで上昇するも、同時に発表の米第3四半期GDP、個人消費とコアPCE価格指数が予想を下回った事を受け、直ぐに売りが優勢となり、142.05まで下落し、その後も142円台前半を中心とした推移が続く。午後は手がかり材料が見当たらず、142.30付近を挟んだ推移が続く、142.12レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。1.0950付近での狭い推移後、軟調な展開を見せていた欧州株式市場が反転上昇する展開を背景に買いが優勢となり1.0981レベルでNYオープン。午前中は先述の米経済指標の結果を受け、米金利が低下する中、1.1012まで上伸。午後ユーロ高の流れが続く、終盤にかけては1.10台付近まで続伸し、1.1011レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・田川